

Y03a IAU Astronomy Day in Schools project : 文化、社会、生活と関連した天文教育実践のこれまでのレビュー

富田晃彦（和歌山大学教職大学院）

Astronomy Day in Schools（学校天文の日）というプロジェクトが国際天文学連合の Division C: Education, Outreach and Heritage, Commission C1: Astronomy Education and Development, WG of Astronomy Education Research & Methods の sub WG として進められており、富田は共同代表のひとりとして携わっている。春分・夏至・秋分・冬至の時期に Zoom ミーティングを通して、学校の授業あるいは課外活動や野外活動センターでの活動での天文教育に関連した実践報告を行い、その資料を公開しているプロジェクトである。先端的な科学教育としての天文教育実践だけでなく、ごく普通の天文教育実践も、天文という分野の特徴から国際連携によく乗るものといえる。交流と資料の公開を通して、ごく普通の天文の授業の充実に貢献することが、このプロジェクトの目的である。Astronomy Day in Schools というプロジェクト自体は IAU 100 周年記念事業のひとつとして始まった。その最初のプロジェクトは終了したが、上記の目的で模様替えし、Commission C1 のプロジェクトとして再開している。2021 年の夏至の時より現在の形のプロジェクトを本格的に立ち上げ、2023 年の春分の時まで 9 回実施してきた（2023 年の夏至は行っておらず、秋分から再開の予定）。これまでの実践内容を整理し、レビューしたものを紹介する。学校教員だけでなく生徒の参加もあり、生徒による交流の例についても紹介する。Zoom ミーティングでの交流は当初の目標を達しているが、資料の整理と公開がやや手間取っており、この点で当初の目標からやや遅れている。現時点での公開の状況について報告するとともに、このプロジェクトへの協力についても呼びかけたい。